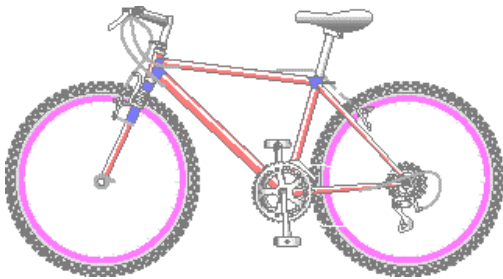
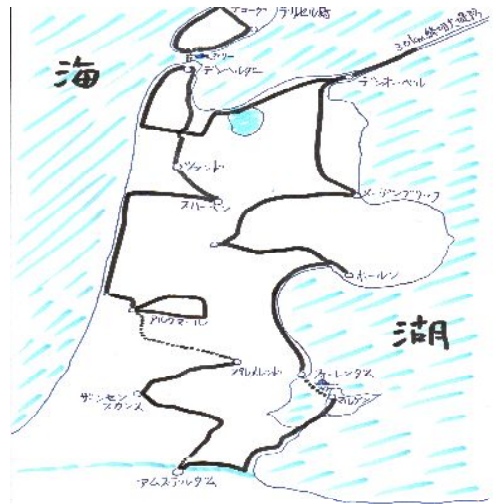




# オランダ旅行レポート 2005



著：多河英雄

## オランダサイクルーズレポート

多河英雄

自転車王国オランダにサイクルーズに参加しました。サイクルーズとは「サイクリング」+「クルージング」を合わせた主催者の造語です。ハウスボートに宿泊し、サイクリングで移動。ホテルになるハウスボートもそこへ移動して待っていてくれる。毎日荷物をまとめて運ぶ必要がないステキなサイクリングツアーです。

オランダは自転車王国と言われて、全国に自転車道が網羅されていることはご存じの方も多と思います。国土の四分の一が海面より低く、高い山もない。つまり平坦なのです。自転車に最適な国？なのです。

6月12日関空からルフトハンザ航空で旅立ちました。参加者8名。福島から2名京都の男性4名女性2名です。添乗のヒシダ氏を除いて全員60代以上。

フランクフルトを經由してオランダスキポール空港に着いたら雨が降っていました。降水量の少ないオランダでも雨は降ります。

夕方に着いたのですが日没は10時過ぎとのこと。まだまだ空は明るいのです。バスでホテルに行き夕食を取ってベッドに入ったときには自宅を出てから24時間が過ぎていました。

13日いよいよサイクリングの開始です。バスでアムステルダム港の船着き場にむかいます。途中ポートレース場横を通りました。なんだか見たことあるなと思ったら、前回南部を走ったときに通過した所でした。3名が前回から続けての参加です。

アムステルダム港に着いてホテルになるハウスボートはすぐ見つかりました。Irmadan2号です。自転車は全員レンタサイクル=ママチャリ。体格の大きなオランダ人用の頑丈な自転車。変速機はシマノ製の内装7段変速。日本では見たことのないものです。サドルを一番下まで下げて何とか乗れる大きなものです。早速サイクルコンピュータを取り付けました。やはり走った距離を知りたいものですから。いつもはロードかMTBに乗ってる人には不満が残りそうですが。



IBIS エアポートホテル



佐藤氏とコール夫妻

出発前に予定してコースと初日から変更になりました。船長がこちらの方がいい、ここはナイスビュー、そこはノーグッド、の連発。船長の言うコースを走ります。初日から宿泊地も変更です。船内で昼食用のサンドイッチをつくって、アムステルダム港の向こう岸からスタートです。

スタート地点。閑静な住宅地です。自

転車をおろして写真を撮って、船に気づくと1メートルほど下にはありませんか。平坦なオランダとはいえ水面に差があるのです。ここは閘門の中だったのです。道路を走りながら見ると水面が大きな所では2～3m差がある所もありました。細かい水位の調節は大変なんだろうな。



オランダの住宅は窓が大きいことで有名です。室内が丸見え。きれいにしておくことが大切なんだそうです。

右が湖左が川を走ってるはずが、いつの間にか両側が水ばかり。堤防の上を走っていました。たくさんの風力発電機が見えます。風車ですが目的の風車ではありません。

Marken に着き対岸までフェリーに乗ります。乗り場にいろいろ売店があり、フェリーの中で昼食です。食べ終わる頃には対岸 Volendam に到着です。

きれいな町で写真撮影休憩を取ります（なんだか休憩ばかり）Hoorn の町も落ち着いた町。跳ね橋のたもとで大型の自転車を見ました。5人乗りの自転車。さすがだなと感心。まだまだ驚く自転車が現れます。自転車だけでなくその環境も感心させられる。小さな町のあちこちに大小の自転車置き場がある。これなら放置自転車がなくなる！？日本にはなぜ無いんだろう。

Hoorn から宿泊地の Ambacht まで走る。結構時間がかかり19時前に初日の走行を終えた。本日の走行距離 75.8km

14日今日は今回の目的地大堤防に行く日。昨夜のコース打ち合わせに船長はノーグッドを連発。大堤防はおもしろくないと言うのだ。

でも今回ツアーの目玉 欠かすわけにはいかない。昨日もだがはじめ北に進む間は良かったが、西に進み出すと向かい風。今日も南西からの風が強い。「行きはよいよい帰りは怖い」。大堤防までは追い風。帰りは向かい風が必至。



### イルマダンII前



朝そろいのTシャツを着て記念撮影。残念逆光で顔が見えない。

Medemblik は蒸気機関車列車の終点とか。でもそれは見ることはできなかった。ホームを横切って堤防の上に出る。教会・風車を写真に撮って大堤防を目指す。自転車道には自転車用の案内板がある。

大堤防はやはりすごい一言。百年以上前にこんな大規模なものを造ろうとした発想自体に感心する。右も左も水平線が見える。どちらが外海でどちらが内海か一見しただけでは分からない。地図を見ているから分かるだけ。どこまで行くか迷う。向こうから自転車で来る人がいる。止まってる我々を追い越していく人

もいる。30 km 続く直線の堤防の横は高速道路。

小休止して戻り出す。向かい風。分かっていたけど自転車が進まない。ほんの少しだけ大堤防を走っただけなのに、帰りは大変。

大堤防付け根の町でレストランに。そこはフィッシュセンター。魚をいろいろ料理して出してくれる。揚げたてのコロッケは熱かった。Hippolytushoef の風車を見て向かいの茅葺きの家が葺き替え中。日本でも珍しくなった茅葺きにこんなところで出会え、しかも葺き替え中。ある種の感激。

向かい風が強い。何とか渡船場にたどり着く。運河(カナル)を渡るだけの小さな渡船。

10メートルもない。台船に乗ると動き出す。渡り終えてしばらく見ていると自動車も結構乗る。道の一部になっている。なぜ橋を？は日本人の感覚か？

少しいくと障害者にたくさん出会う。いろいろな障害を持つ人と介助者が行き来する。標識を見ると Noorder Heven (北の天国)。障害者が障害者のための町をつくっていると、後で聞く。宮城まりこさんが日本に紹介したことのある有名なところ。ふーんと感心。

その後船長推薦の海岸に出る。なーんと。オランダにもこんなところがあるのか。海岸段丘が両側にあって人間がつくったものは道路しか見えない。まるで高原の中を行くようだ。感嘆している私の横を自転車が高速で走っていく。全体に上り坂なのに、スゴイ。車いすの人も一人で散歩している。

写真を撮って走り出す。上りなのに軽やかに走る。そう、追い風。今まで悩んできた風がここでは追い風になった。スムーズに登り切る。速い自転車は特別ではなかった。



夕食風景



先端の灯台まで行くとそこには砦があった。昔英国と戦いの時からあるようだ。古い大砲があるそばに近代的な機関砲も並んでる。

Den Helder 町に入るのに少し道を逆走してしまった。自転車道が分からなかった。少しいくと海軍博物館があり、そこには潜水艦が展示してあった。こんなものも見せるのかと思いながら港に。ハ

ウスポートを探しながらいくと、一人足りないことに気づく。R氏がいらない。少し周りを探して連絡を取りに追いかける。大きな橋が跳ね上がっているところで追いついた。ちょうど大型の船が通るところ。一人いないことを話し、また探しに戻る。見つからない。潜水艦まで戻る。ダメ 目に付く教会の広場を一回り。もうダメ。船に戻って待つことにする。ちょうどそのとき船長が自転車を引っ張り出してきて、探しに出かけていった。さすが船長。しばらくするとR氏と一緒に

戻ってきた。ホットしたら疲れが出た。何しろ今日は100km越えたのだから。それも大半は向かい風。お疲れさま。

本日の走行距離 108km

15日は朝早く起きる。昨日は早く寝たから当然。今日はTexel島に行く。フェリーに乗って島に渡る。これで初日フェリー、2日目渡船と3日とも船に乗ることに。

昨日海岸から沖に見える砂州！それがTexel島（テソー島と呼ぶらしい）。島の東側を北に向かう。快調。昨日ほどではないが今日も風が強い。今は追い風。



かわいい箱庭のように風車が見える。見学は10時から。まだ30分もある。近くをぐるっと散歩してみる。風車の反対側はヨットハーバー。無数のヨットが並ぶ。風車見学はあきらめて島の反対側にある水族館を目指す。島を完全に横断。でも砂州と間違えるぐらいの島。高低差は非常に小さい。が向かい風になる。

途中ワゴン博物館に寄る。小さな町や村にもいろいろな小さな博物館がある。ワゴンとは？よく分からなかった。人の乗る箱形の乗り物のようだ。パン屋の馬車も乳母車もワゴンだった。



島を横断して水族館に到着。まず驚いたのが駐輪場。駐車場と同じぐらいの広さがある。そしてたくさんの自転車が止めてある。子供自転車が連結してある自転車も。水族館を見学がてら昼食を摂る。

親子自転車も珍しい。これで何度目だろう。いろいろな形がある。オーダーメイドなんだろうか？

帰りはまたも向かい風。休憩も少なくして走る。予定より1時間前のフェリーにぎりぎり間に合う。自転車に乗ったまま乗船する。時間に余裕ができたので、昨日見られなかった海軍博物館を見学。

ここから南に一直線。まとも向かい風。昨日乗った渡船の横を通りすぎる。風力発電機の並ぶ横をあえぎながら進む。t Zandに到着。船はすぐ見つかった。本日の走行距離 58.8km

16日スタートすると船も出るから見るようにと言われ、跳ね橋を通過するIrmaDan2を見送り16日Schagenへ向かう。ここにも市が立っている。紅白の花畑を見て海岸にたどり着く。海岸の堤防の外側も走れるのだが、とても走る気にならない。堤防の内側だと少しは風がましかと思いき走る。いや、這って進むようだ。遠くに馬に乗る人が見えるが、いつまでたっても追いつけない。ようやく堤防と分かれるところまで来た。



その上には風にもたれかかる像がある。常に風が強いのだろうか。



Alkmaar に着く。まだ時刻は早い。明日の打ち合わせをする。クルージングを楽しむためには船長推薦の風車見学に出かける。

近くの現役の風車を見る。粉ひき風車が営業している。我々が見学にはいると終業が近かったのかすぐ風車をたたみだした。粉を出荷する場も見ながら、風車見学を続ける。結局いくつ風車を見たんだろう。次

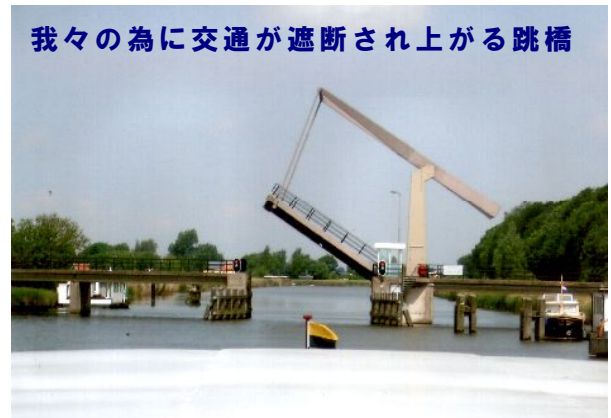
から次へと風車が現れる。途中道に迷ったこともあり予定より5～6 kmよけいに走ったかな。

本日の走行距離 83.1 km

17日サイクリング最終日。前半はクルージングを楽しむ。自転車を積み込んで朝食を摂りながらゆったりと船は進む。カナルはまっすぐのびる。野鳥が何種類も集まっている。気持ちも安らぐ時間。

Purmerend に着く。ここから風車で有名な Zaanse Schans へ。きれいなところだがさすがに観光客が多い。人をよけながら走る。

アムステルダムに入ったが、そこで道に迷う。少女に尋ねるとどちらでもいけるとのこと。先導のヒシダ氏にこだわりがあるようだ。そのまま進んでも港に着くのだが、船長から聞いたフェリーに乗るつもりだ。ようやくフェリーに乗る。日中なのだが人も車も満員。とても料金を集める間がない。到着一下船。どうも無料のようだ。



無事 IrmaDan2 に戻り着く。途中東京駅の原型と言われるアムステルダム駅を見る。時計が二つあると思えば、一つは風向計だ。昔から風に感心があるし、風が強いから風車が発達したんだろう。

チェックアウトしてホテルに移動する。

本日の走行距離 42.9 km

18日最終日 いよいよ帰国の日。朝ホテルを出て空港に向かう。来るときの逆順にフランクフルトを経て関空へ。19日の朝無事に到着。

オランダサイクルーズの旅が終わった。